

村雨の 露もまだひぬ まきの葉に
霧たちのぼる 秋の夕暮れ

難波江の 葦のかりねの ひとよゆる
みをつくしてや 恋ひわたるべき

見せばなや 雄島のあまの 袖だにも
ぬれにぞぬれし 色はかはらず